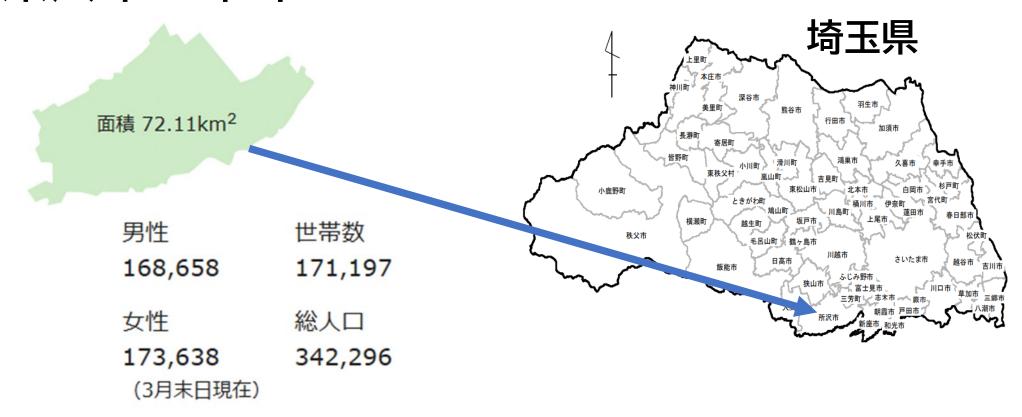
令和7年度JFM地方財政セミナー

こんな財政課になっていませんか?

令和7年7月28日

所沢市副市長 林 誠

所沢市の位置



- 〇都心から30キロ圏内
- 〇西武新宿線と西武池袋線が交差し、新宿まで34分、池袋まで22分 〇人口は過去15年ほどの間、ほぼ横ばい

所沢市の見どころ



埼玉西武ライオンズの本拠地



航空発祥の地



サクラタウン



西武園ゆうえんち



狭山スキー場



トトロが生まれたところ

所沢市の財政状況

(令和5年度決算カードより)

区分	指数等
歳入総額	約1,323億円
歳出総額	約1,246億円
財政力指数	0.939
経常収支比率	95.2%
実質赤字比率	
連結実質赤字比率	
実質公債費比率	5.1%
将来負担比率	0.8%

※2030年の中核市移行を目指して準備を進めています。

財政課の使命

本来の役割

- 持続的な住民の福祉向上のため、 適切な資源配分を行う

☆財政は福祉向上のための手段

財政課の使命

陥りがちな罠

一次年度の予算を組むこと自体が 目的化

☆目的と手段が転倒し、 所管課を信じず、ケチケチ作戦

予算編成スケジュールの例

6月	次年度新規事業の募集
7月	新規事業ヒアリング
8月	新規事業審査
9月	財政課において予算編成方針の策定
10月	予算編成方針に基づき各所属が予算編成
11月	財政課と各所属とのヒアリング・折衝
12月	財政課査定作業
1月	首長査定•予算内示
2月	予算書及び予算資料の作成
3月	議会において当初予算の審議

※今までにいろいろな自治体で見聞きした ネガティブな情報をもとにしています。

現在は状況も変わり、 これからお伝えするような財政課は あまりないとは思いますが・・・。

ただし現在でも、SNSなどを含め、 残念な声を聴かないわけではなく

財政課の思いと所管の受け取りが噛み合っていない状況では?



一度振り返ってみては

何かにつけて 「財政状況が厳しい」と言う。

- 言葉のマイナスの影響を考えているか
- ・厳しさを伝えてどうしたいのか
- ・ なぜ厳しいのか

ずっと 「財政状況が厳しい」 と言い続けている。

- ・社会情勢の変化に対応しているか
- 信頼は保たれているか

情報を抱え込む。

- 伝えるべき情報を伝えない
- ・財政課が伝えたい情報のみ伝える

必要な情報を 正くわかりやすく 伝える工夫をしない。

- ・数字の意味するものを読み解かない
- どう伝わるかに心を砕かない

「上から目線」が抜けきらない。

- 「所管課はわかっていない」「所管課に任せたら大変なことになる」と考える
- ・お金を握っているのは財政課、との発想

事業の粗探しばかりをする。

- ・重箱の隅をつつく
- ・滅多に起きないことを持ち出す
- ・新規事業を嫌がる

実際の事業への関心が薄い。

- イベントに参加しない
- ・予算を削った結果どうなったかに 関与しない

半端な予算を付ける。

- ・根拠なく査定する
- ・執行のことまで考慮しない
- 手を入れないと気が済まない

特定の時期に時間外勤務が集中する。

- ・ 備えができていない
- ・前年の反省が生かされない
- 自分のことを棚に上げる

ビジョンを持たない、ビジョンを伝えない。

- ・あるべき地域の将来像を持たない
- ・あるべき予算編成体制を想像しない
- 目の前のことに追われていることにする

こんな財政課になりませんか

・予算をつけることに力を注ぐ予算を「切る」から「つける」に

・**所管課を信じ、力を発揮してもらう** 「疑う」から「信じて任せる」に

こんな財政課になりませんか

情報を共有し、共に考え、共に悩む 「由らしむべし知らしむべからず」 からの脱却

・あるべき姿を追い求める

目先のお金より大切なものを求めて

予算は誰のもの?

・予算は、 誰の、 誰による、 誰のためのもの 財政課の責任、所管課の役割 もう一度、考えてみませんか?